

東南アジア教育大臣機構(SEAMEO)について

組織概要

- ・教育、科学技術、文化を通じ、ASEAN諸国間の協力を促進することを目的として、**1965年に発足**。事務局は、**タイ(バンコク)**。
- ・加盟国: ASEAN諸国及び東ティモールの11か国。
- ・準加盟国: オーストラリア、フランス、カナダ、ドイツ、オランダ、ニュージーランド、スペインの7か国。
- ・域内に、教育研究分野、医学教育分野、農学教育分野等、19のセンターがあり、主に、教員研修や教材開発を行っている。
- ・加盟各国からの拠出金により運営。

我が国とのつながり

- ・我が国は、SEAMEO理事会にオブザーバー出席(文部科学省職員や文部科学省からの出向者である現地アタッシェ等)。
- ・筑波大学は、平成21年4月にSEAMEO共同機関(Affiliate Member)に参画。
- ・平成23年度は、新規でSEAMEOとの連携強化のための予算が獲得できたため、以下の事業を検討中。
 - ①SEAMEO-JAPAN ESD AWARD
SEAMEO加盟国内の小・中・高等学校のESDに関する優秀な事例を表彰。
 - ②センターで実施する教員研修への講師派遣

大臣機構

ASEAN諸国及び東ティモールの11か国



※ 上記を含め19のセンターを設置

- ・ホスト国の予算をベースに活動
- ・SEAMEO加盟各国に設置されており、独自に研究を推進